

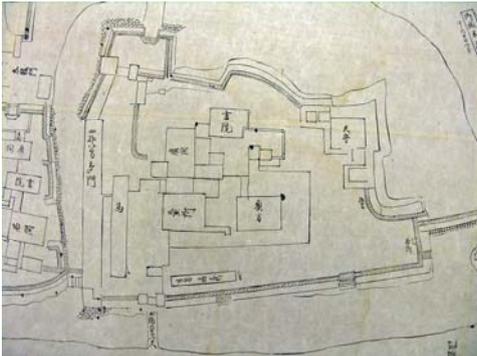
4-1

松本城クイズ

本丸今昔・黒門枅形今昔

松本城管理事務所研究室

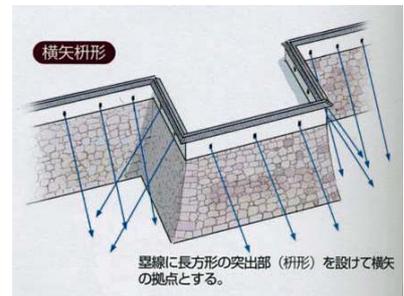
1、本丸は最後の砦（とりで）としてより堅固でなくてはならない。総堀と外堀では、枅形と馬出しの門台だけを口口にしている。内堀では、天守台や門台等すべての壘に口口を施して高く積上げ堅固にしている。口口にあてはまる言葉を選びなさい。・・・②



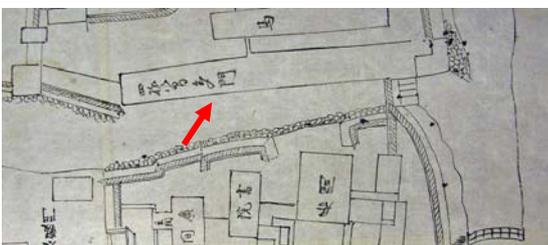
左の「元禄古絵図」をみてもよく分るが、本丸はぐるっと石垣で囲まれている。しかも高い石垣である。武田氏時代はすべて土普請であったが、石川康長の代に、父数正の計画した城普請を受け継ぎ、天守を建て、惣堀を浚い、幅を広げ、岸の石垣を築き、渡櫓を造ると記されている（「信府統記」）。最後の砦としてより強固にしたことがうかがわれる。此の石垣の上に土塀や多聞櫓が廻されていた。

2、次の絵図と写真を見て教えてください。双方赤の矢印の部分は石垣が堀に出っかけています。この部分のことを何と呼ぶのでしょうか。次の中から一つ選びなさい。・・・③

横矢（横矢がかり）とは、侵攻する敵に対して側面から攻撃をする行為（想定）である。「ヒト」は体の正面に目がついているため、側面への目配りは勢い弱くなる。よって側面から攻撃は、侵攻する敵に対する有効な方法といえる。横矢は、堀・土壘・石垣・土塀などを折り曲げたり、道を曲げたりすることなどによって造りだされる。設置場所は虎口（こぐち）が代表的な例である。黒門の虎口に対して横矢をかけるのに好都合である。



3、本丸東側壘の上には、他の壘上の土塀とは違った建物が建てられていて防御を強固にしました。この建物を何と呼んだのでしょうか。次の中から一つ選びなさい。・・・④



本丸東側石壘の上のは、土塀ではなくて多聞櫓（たもん）が建てられていました。二の丸西側との堀は、標準の15間はありません。したがって戦いに弱い部分といえましょう。そこで強固にするため、この多聞櫓を配置したのではないのでしょうか。本丸や二の丸のような重要な曲輪には、土塀ではなくて多聞櫓を廻らす。防衛性能がよ

いからで、鉄壁な構えといえる。

4、本丸御殿は、表（表向）と奥（奥向）の二つの部分から構成されるのが通常でした。奥は城主の私邸でした。さて表は、玄関・広間・書院等があり、口口でした。口口にあてはまる言葉を次の中から一つ選びなさい。・・・①

表（表向き）は公邸で、玄関・広間・書院の3棟からなり、城主と家臣の対面がなされ、主従関係が確認されていた。奥（奥向）は城主の休息の場（私邸）であった。

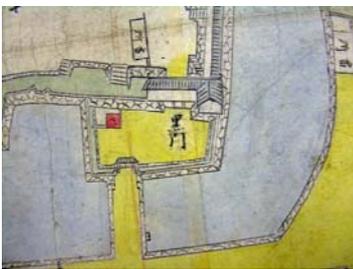
5、本丸御殿は、享保12年(1727)に焼失してしまいました。その後財政難で再建されませんでした。今は本丸庭園内に写真のように瓦で御殿跡を示しています。遺構(いこう)は次のうちのどれくらいの深さにありますか。正しいものを一つ選びなさい。.....③

未だ本丸御殿跡は全面発掘されてはいません。そのため地下50cmの地点で眠ったままです。この遺構を是非とも保護しなければいけません。杭を打つ時は、絶対に50cm以上打ち込んではいけないことになります。また遺構破壊につながることは避けましょう。

6、黒門と名がついているわけは次のうちどれが正しいでしょうか。一つ選びなさい。.....②

黒い下見板が張られているからではありません。黒というのは色の黒とさすのではなく、正式を表わす意味をもつ。従って**本丸に入る正式な門**ということになる。

7、黒門一の門櫓をL字形にしたり、石垣積みに、また門台西に続く石垣を堀に突き出したりしています。明らかに攻撃に重点を置いています。このL字形の櫓を何と呼ぶのでしょうか。次の中から一つ選びなさい。.....④



櫓門がL字形に曲がった櫓門を、**規矩折り(かねおり)**という。また、矩折(かねおり)とも書く。矩とは直角に曲がっていること。矩尺(かねじゃく)は直角に曲がったものさし(金属製)をいう。

8、二の丸から黒門に入る土橋は、上の絵図(7番)の長さ(25, 1m)より短くなっています。これは明治以後堀が埋め立てられているからです。上の絵図をみると、土橋が細くせばまっている様子わかります。この土橋が細くせばまっていることを何と呼ぶのでしょうか。一つ選びなさい。.....③



太鼓門枳形の土橋も同じように**鵜の首**となっている。これは敵の侵攻の際の一種の妨げとなり、防衛手段の一つとなる。大人数で攻め寄せてきた場合、土橋の道幅が急に狭まるために堀に転落となってしまうという仕掛けである。鵜が魚を飲み込む時、そこだけ太くなる様子にたとえて付けられた名称と思われる。現在の黒門にはこの鵜の首はついていない。堀が埋め立てられて土橋が短くなってしまったため、鵜の首が付けられなかったものと思われる。

9、昭和30年に天守解体復元が終了した後、市民から本丸の整備を進めようという声が高まり、市民からの協賛金をもって、昭和35年に名古屋城の櫓門を模して黒門が□□しました。□□に入る言葉を一つ選びなさい。.....①

名古屋城の櫓門を模して建てたので**復興**ということになる。復元となると、発掘調査して基礎的資料をもつこと(遺構が確認できること)、明治以降に壊されてものについては写真が存在すること、設計図があることの3点が復元できる条件として文化庁から示されている。このうち1点でも欠けていれば復元にはならない。黒門はこの3点には至ってはいないので復興となる。

10、平成元年には二の門と袖塀の□□と枳形の整備が行われました。これにより黒門枳形が完成をみました。□□にはいる言葉を一つえらびなさい。.....④

9番の解説にも述べたように、復元3点の条件が得られると**復元**となる。この黒門枳形二の門(高麗門)と袖塀は平成2年に復元をみた。